

15年度下期 組織人事について (9月1日付)

記

1. 組織変更

- グループの仕事の仕方を学び推進してきた**自主化への挑戦**を、商品開発プロセスの向上とチームマーチャンダイジング強化により**利益化を図るフェイズに進展**させる。そのために、**自主商品部が横断的に商品部全部門をリードする体制の下、全部門がチームマーチャンダイジングの拡大・強化**を図る。
- 15年10月からグループの**オムニチャンネルがスタート**することを踏まえ、システム開発及び商品調達・供給に関わる運営を円滑かつ安定的に行うため、オムニチャンネル推進組織の再編を行う。  
また、「店舗(リアル)」と「ネット」への対応力強化に向け、**商品部及び営業企画室が連携を強化することで、三位一体の営業活動を推進**する。
- 基幹店は、池袋本店・横浜店で**営業力強化**に向けた組織変更を行い、大宮店は**基幹3店規模の利益を生み出す店舗へのステップアップ**を急ぐ。また、地方店は、**店舗が意志を持って発注を行う体制作り**を推進することで、店舗改革の取り組みを強化する。

<本 部> オムニチャンネル対応に向けた組織の強化

- ①「**自主商品部**」を商品部に位置付け、オムニチャンネル時代にお客様から支持される「**独自商品**」の強化に向け、自主商品部は、商品計画部と連携し、全部門を横断した商品開発を推進する。
  - ・「**SPA 開発部**」は、SPA 商品開発及び生産・管理まで一体化したオペレーションを行うため、「開発企画部」に「生産・管理部」の機能を統合の上で改称する。
  - ・商品計画部に、「**商品開発担当**」を新設し、ディレクション及び部門横断の商品開発を強力に推進する。  
また、リアルマーケティングに基づく仮説作り・商品設計(計画)力強化に向け、「**マーケティング**」機能を営業企画室から移管する。
- ②「**オムニチャンネル運営部**」を、オムニチャンネル推進体制を強固なものとするために新設し、「**オムニチャンネル推進部**」・「**システム部**」の2部制とする。これに伴い、「オムニチャンネル推進室」は、発展的に解組する。
  - ・オムニチャンネル運営部に、オムニチャンネル関連機能を集約し一体化したオペレーションを行うため、商品部から「**e.デパート推進部**」を移管し、オムニチャンネル推進室の機能を吸収した上で、「オムニチャンネル推進部」として再編し、「**オムニチャンネル推進**」・「**e. デパート推進**」の2つの機能を位置づける。
  - ・「**システム部**」を、オムニチャンネル関連のシステム開発を重点化しより円滑に推し進めるため、商品統括部からシステム機能を移管した上で新設する。

2. 主要人事について (別紙参照)